

会 議 概 要

- 1 審議会名 令和元年度安曇野市特別職報酬等審議会（第2回）
- 2 日 時 令和元年9月24日 午後1時30分から午後3時5分まで
- 3 会 場 安曇野市役所本庁舎 3階 会議室301
- 4 出席者 中野会長、清澤会長代理、尾碁委員、高橋委員、筒井委員、藤松委員、
藤原委員、丸山委員、横山委員
- 5 市側出席者 金井総務部長、長崎職員課長、洞課長補佐、白澤主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 2人
- 8 会議概要作成年月日 令和元年10月3日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - (1) 開 会 （清澤会長代理）
 - (2) あいさつ （中野会長）
 - (3) 議事
 - ① 前回の審議内容について
 - ② 追加資料について
 - ③ 諮問事項に対する検討について
 - (4) その他
 - (5) 閉 会 （清澤会長代理）
- 2 審議概要
 - ① 前回の審議内容について
（事務局より説明）
→意見等なし
 - ②追加資料について
 - ・議員の年間報酬額の差が自治体間で大きいのはなぜか。
→中核都市であることや、人口の違いといった市の規模や形態によって異なっている。
 - ③諮問事項に対する検討について
 - ・県外他市との比較は、類似団体とは言え中身が分からない部分があり、また、人口が近くても財政力指数がかなり違っているといったところから、県内市で安曇野市と人口規模が近い市と比較検討していくのがよいのではないか。
 - ・県内の状況類似4市の平均を仮に参考とするなら、それぞれの職における平均値を出して、その差の高い低いによって、ある職は据え置きでもいいが、ある職は上げたほうがいい、といった検討をしていくのがよいのではないか。
 - ・役務や労務の対価として報酬を考えると、人口はあまり関係ないのではないか。働いた労務に対する対価であれば、財政力のあるところはそれなりに多く払ってもよいのではないか。
 - ・県内同規模市で検討していくと、どこかが上げれば他も上げるといったことに陥りやすいのではないか。全国に目を向けると、同じような人口規模のところでも15万円くらい市長の給料額が違うところもあるので、そういったところにももう少し近づいてもいいのではないか。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

- ・他市の審議会の議事録を見ると、やはり人口を基準として、似たような人口の報酬額を見る中で、自分たちの市はどうかという議論をしている。いくつかの自治体を見てみたが、やはり人口規模について議論がされているため、人口比較、しかも県外を見ると分からなくなってしまったので、県内4市比較の中からということで方向性を定めていかないとまとまらないのではないか。
- ・人口と財政力指数とをうまく絡めて議論が出来ればよいが、財政力指数のばらつきが大きい中で、人口で見たほうがバランス的には見やすいように思う。人口とした場合、今後、人口が減少に転じていくのかなど気になる部分もあるが、両方勘案してというのは非常に難しいのではないかと考えている。
- ・いろいろな試算を見てみると、どこも県内各市の動向を見ながら毎回やっているもので、これを何年もずっとやっていくと結果的には近寄ってくるのではないかと思う。なので、平均値でいくというのも1つだと思うし、感覚的に安曇野市はこれでいいのではないかといった案もあるのではないか。

→市長、副市長、教育長及び議長、副議長、議員についての給与及び報酬の額、また、政務活動費の額については現行のまま据え置きとすることで審議会の方針を確認。次回の会議にて、付帯意見の検討を行う予定。

②その他（今後のスケジュールの確認）

【次回：令和元年10月17日（木）午後2時から】